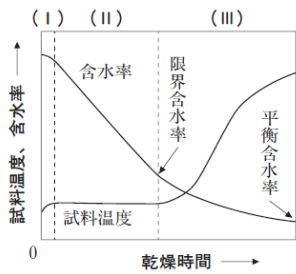


# 100-178

## 問題文



1. 乾燥初期の期間(I)では、試料温度の上昇にエネルギーが消費されるので、乾燥速度は低下する。
2. 試料の含水率は、全乾燥工程中、直線的に減少する。
3. 期間(II)では、加える熱量と水分の蒸発に伴う気化熱が等しくなり、乾燥速度及び試料温度はほぼ一定となっている。
4. 限界含水率より含水率が低くなる期間(III)では、試料温度が上昇しても、乾燥速度は低下する。
5. 乾燥終了時には、含水率は0%になっている。

## 解答

3, 4

## 解説

選択肢 1 ですが  
期間Iのグラフに注目すると少しわかりにくいのですが、上に凸で、減少しているように見えます。上に凸ということは、だんだん含水率の減少速度が速くなっている、ということです。含水率の減少する速度とはまさに乾燥速度です。従って、乾燥速度は期間Iにおいて、上昇しています。低下では、ありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが  
期間I、及びIIIを見るとグラフがぐにゃっと曲がっており、含水率が全期間で直線的に減少しているということは、ありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3,4 は、正しい選択肢です。

選択肢 5 ですが  
含水率は、横軸とは交わっていません。従って、含水率は 0 % にはなっていません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 3,4 です。